

# 『だれかの笑顔のために』

## 『だれかの笑顔のために』行動できる 児童の育成を目指して

本年度、新しく5名の教職員が赴任し、新体制で令和7年度がスタートしました。(裏面に職員写真を載せています。)本年度の新入児童は37名で2クラスとなり、全校児童は254名です。

本年度は、『だれかの笑顔のために』主体的に行動できる児童の育成を目指して、教育活動を推進していく覚悟です。本年度も、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 4月8日(火)の始業式でこんな話をしました。

今年度の目標を決めました。菊水小のみんなが、『だれかの笑顔のために』行動できる人になってほしいという目標です。今から、だれかの笑顔のために行動した一人の高校生の話を紹介します。

2018年、今から7年前の7月、大雨がふり西日本にもものすごい被害をもたらしました。「7月豪雨災害」と呼ばれています。テレビでそのニュースを見ていたひとりの高校生が行動を起こすのです。その時使ったのが、携帯電話です。何をしたのでしょうか。

ものすごい被害を受けた自分の住む街の市長さんにメールをしたのです。

「私たち高校生に何かできることはありませんか。配給の手伝いなどはできませんか。何かできるかもしれないのに家で待機しているだけというのはとてもつらいです。子どもだから、できることは少ないかもしれないです。でも、ほんの少しでもできることはないですか。」

市長さんから返信がありました。『あるとも、すぐに市役所に来て手伝ってほしい。』

知らぬところで、この市長の返信が拡散され、市役所には、50人の高校生が集まりました。

そして翌日、大変なことが起こりました。実は市役所に700人の高校生が集まったのです。多くの高校生が昨日のメールの呼びかけに答えてくれたのです。

高校生ボランティアは4日間で1700人以上が集まったといわれています。

夏休みに入ると、そのボランティアが高校生から中学生、小学生へと広がっていったそうです。

この姿を見た大人たちに変化が起こりました。市に対して罵声をあびせていた大人が、「ありがとう」と感謝の言葉を口にするように変わっていったそうです。

きっかけは一人の高校生の勇気ある行動(市長へのメール)でした。その行動が、多くの人を動かし、市民の心を変えるきっかけになったのですね。

### 4月19日(土)の授業参観 お世話になります。

※「授業参観・PTA総会・学級懇談会のお知らせ」プリントを配布してあります。下記の日程で実施いたします。よろしくお願いいたします。

○授業参観	9:25~10:10(45分)
○PTA総会(体育館)	10:20~11:05(45分)
○学級懇談会	11:15~12:00(45分)
○専門部会(各部ごと)	12:10~12:40(30分)

